

墨田区オリンピック・パラリンピック地域協議会  
会 議 録

## 会議名

第 2 回 未来枠会議

## 日 時

平成 3 0 年 3 月 1 5 日 ( 木 ) 1 8 時 0 0 分 ~ 1 9 時 4 0 分

## 会 場

区役所 1 2 2 会議室

## 会議の概要

- 1 自己紹介
- 2 前回議事内容の確認  
資料 2 の前回会議録を確認した。
- 3 区の来年度の取組について  
資料 3 の区の来年度予算について説明した。
- 4 意見交換

幹事) 第 1 回目の前回は、議論のきっかけとして「ランニングイベント」を議論の素材にしたらどうか話をさせていただいた。

先月、墨田区を走ることになって 2 度目の東京マラソンが実施された。応援しに行ったが、マラソンにはものすごいパワーがあると実感した。スポーツの力はすごいものがある。2 0 1 9 年 1 2 月には総合運動場ができる。「陸上競技」だけでなく、柔軟な活用ができる運動場となる。

また、オリンピックは文化的な要素も重要。墨田区には「北斎」というキラコンテツがある。何を発信して、どういうふうに地域を活性化できるのか。

若い皆さんの自由な発想が欲しい。その発想を形にするためにはどうしたらいいかを考えていただきたい。何か発想を持ってやること、何かに参画できた、何かに関わってきたということがいい経験になると思う。「自分のために未来枠を活用してやる。」という思いでやっていただくと有難い。

今日の一つの到達点としては、きっかけとしてのランニングイベントがどうあるべきかを皆さんから意見をいただければと思う。

## 【資料説明】

スポーツ・学習課長より、別紙 4 ( 区内マラソンの検討について ) について説明した。

なお、ランニングイベントの開催時期は総合運動場の供用開始の 2 0 1 9 年 1 2 月を予定しており、今年の秋には予算を固める必要がある旨、あわせて説明がされた。

## 【会員の意見】

- ・ランニングイベントの目的は何か？

2 0 1 9 年 1 2 月供用開始予定の総合運動場のこけら落としとしてスタートし、2 0 2 0 年に向けた気運醸成を図るとともに、レガシーとして残していけるイベントとしたい。

- ・ランニングイベントは古いと言われ始めており、5 km や 1 0 km のファンランが多発している。
- ・ランニングイベントは、参加者は多いがお金を落とさず、活性化というより地域が消費していくと言われている。
- ・ランニングイベント後に焦点を当ててみるのも面白いかもしれない。

- ・ラントリップというサービスがあるので、是非参考にしてほしい。別紙4の区内全域コースの検討案2に近いが、ゴールをパーティー会場として、オリジナルのランニングコースを走り、それを発表し合うイベントがある。
- ・ロゲイニングという大会がある。出発とゴールの時間が決まっていて、コースは自由。観光名所の写真を撮り、その場所が遠ければ遠いほどポイントが加算される仕組みとなっている。
- ・走っている方からすると、墨田区内でマラソン大会をやることは魅力なのか。  
荒川河川敷沿いでは開催されているが、あまり魅力を感じない。墨田の魅力を発信できるようなランニングイベントができればいいと思う。
- ・走る人が楽しめるイベントとするのか、走らない人も楽しめるイベントとするのか、切り口によって検討の方向が異なってくるので、イベントの目的やターゲットを決める必要があると思う。
- ・走る人も走らない人も楽しめるイベントが増えてきている。走らない人は、食べ物だとかを楽しんでいる。
- ・長野県では、約1万人が参加する「長野オリンピック記念マラソン大会」というオリンピックを機に都市に根付いた大会がある。マラソン大会が羅列している中で、どう差別化していくのか。墨田区独自のものが大切だと思う。
- ・観光名所を巡るものも良いかと思う。ランニングイベントは、観光なのか、スポーツなのか、それとも両方もありなのか。  
観光にすると、墨田区では南部地区に偏りがちとなる。
- ・決められたコースを走るより、自ら開拓したものの方が良いと思うので、「コースを開拓しませんか？」という、投げ方をするのも面白いと思う。
- ・何を成果とするのか、参加者数なのか、それともレガシーを残すことなのか、地域の人が誇りに思えばいいのか。何を成果とするのかを決めた方がいい。
- ・地域の子ども達が誇りに思えた方がいい。
- ・オリンピック・パラリンピックが東京にくることを子ども達に知ってもらうことが大事なのではないか。
- ・歩道を使ったランニングイベントは、歩道を狭めることになる。イベント参加者が楽しめるればいいのではなく、一歩引いた目線も大切。
- ・子ども、学生、地域の方は、何にワクワクするのか。
- ・バリアフリーマップ作り。心に残るため、子ども達の参画、企画が大切ではないか。
- ・最終的に何を目的にするのかというのが大切だと思う。
- ・子どもに何か残すというのは共感する。応援する側で、競技を見せる形もあり。
- ・子どもを巻き込むのは賛成。

(ポイント・キーワード)

ランニングイベントの「目的」や「ターゲット」により、検討の方向性が異なる。羅列しているランニングイベントと差別化を図るためには「墨田区独自」のものが、「何を成果とするのか」。

#### 5 今後の検討テーマについて

議論したことをそれぞれ持ち帰り、ランニングイベントの目的を決める。

#### 6 次回の開催について

ゴールデンウィーク前に開催する。日にちについては、事務局に一任。